

第2回環境審議会からの変更点等

No.	位置		第2回環境審議会（前回）	第3回環境審議会（今回の会議資料）
1	P.5 ~P.6	37行目 ~2行目	また、我々の生活の利便性を劇的に高めてきたプラスチック製品による海洋汚染は深刻で、マイクロプラスチックの生態系や人体への影響も懸念されていますし、有機フッ素化合物（PFAS）の懸念など、目まぐるしく変わる、新たな環境問題への対応も迫られています。	また、我々の生活の利便性を劇的に高めてきたプラスチック製品による海洋汚染等については、発生したマイクロプラスチックの生態系への影響や食物連鎖による摂取など人体への影響も懸念されています。さらに、地下水の有機フッ素化合物（PFAS）汚染の懸念など、目まぐるしく変わる、新たな環境問題への対応も迫られています。
2	P.11	コラム	（「コラム① 湧水のもととは雨水」17行目） 向山緑地にある立野川の谷頭の湧水は夏は枯れていますが、かつては夏でも豊富に湧き出しており、	（「コラム① 湧水のもととは雨水」17行目） 向山緑地にある立野川の谷頭の湧水は冬は枯れていますが、かつては冬でも豊富に湧き出しており、
3	P.21	2行目	これまで緑の保全のために様々な施策を実施してきましたが、雑木林の高木・老木化施設が進んでいます。	これまで緑の保全のために様々な施策を実施してきましたが、雑木林の高木・老木化が進んでいます。
4	P.24	コラム	—	「コラム③ 市役所での脱炭素への取り組みについて」追加
5	P.26	コラム	—	「コラム⑤ タイヤ由来のマイクロプラスチック、ご存知ですか？」追加
6	P.28	施策2 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ●化学物質等を適正に取り扱う ●農薬や化学肥料を過剰に使用しない。 ●排水処理の適正な管理を行う。 ●雑排水に含まれる汚れをできるだけ取り除くとともに、汚れた水を川に流さない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●化学物質等を適正に管理する。 ●農薬や化学肥料を適正に使用する。 ●排水処理の適正な管理を行う。 ●雑排水に含まれる汚れをできるだけ取り除くとともに、汚れた水を川に流さない。
7	P.29	施策2 取り組み	—	（どのような事業者が該当するのか注釈で追記） ※主にペットショップやブリーダー等の動物取扱業者を指します。
8	P.30	コラム	—	「コラム⑥ その野焼き、ちょっと待って！ ~ダイオキシン類を発生させないために~」追加
9	P.37	図	—	「進行管理の基本的な流れ」を示す図の修正 Action ⇒ Act

No.	位置		第2回環境審議会（前回）	第3回環境審議会（今回の会議資料）
10	P. 38	表内 個別方針9	●東久留米市の良さ（水と緑）を知っている市民の割合 環境関連団体の登録者数	●東久留米市の良さ（水と緑）を知っている市民の割合
11	P. 41	1-2 タイトル	計画の位置	計画の位置 づけ
12	P. 49	3-1 タイトル	地球温暖化とその原因	市の温室効果ガス排出量と再エネ導入率の現状
13	P. 52	1行目	東久留米市ゼロカーボン宣言で示されている「2050年ゼロカーボン社会の実現」を目指し、	東久留米市ゼロカーボン シティ 宣言で示されている「2050年ゼロカーボン社会の実現」を目指し、
14	P. 57	表内 事業者の行動	○工場設備、機械等の電化を進める ・化石燃料設備を電化する。	○工場設備、機械等の電化を進める ・ 化石燃料を使用する設備について可能なものは電化を進める。
15	P. 75	下表内	（施策「省エネ性能の高い建築物の普及」の評価指標について） ・新築の断熱建築申請件数 ・既存建築における改修件数 ・ 昭和56年度以降建築物の除却件数	（施策「省エネ性能の高い建築物の普及」の評価指標について） ・新築の断熱建築申請件数 ・既存建築における改修件数 ・ 除却件数の把握
16	P. 78	9行目	（「 ■再生可能エネルギーの活用 」の文章内） 地域における再生可能エネルギーの利用を増やすため、太陽光発電などの再生可能エネルギー発電所を地域で自らあるいは共同で設置、消費側で再エネ由来電力を選択し再エネ発電割合の高い小売電気事業者やメニューを選択します。	（「 ■再生可能エネルギーの活用 」の文章内） 地域における再生可能エネルギーの利用を増やすため、太陽光発電などの再生可能エネルギー発電所を地域で自らあるいは共同で設置、消費側で、 CO2排出係数が低く、再生可能エネルギー（非化石証書含む） 利用割合の高い小売事業者やメニューを選択します。
17	P. 78	34行目	（「対策のポイント」の文章内） 産業部門においては、空調、機械設備で使用されている主要なエネルギー消費機器を、エネルギー効率の高いヒートポンプやインバーターモーター等の省エネ設備・機器に更新することや、電力排出係数の改善の推進、再生可能エネルギーの導入などが有効と考えられます。	（「対策のポイント」の文章内） 産業部門においては、空調、機械設備で使用されている主要なエネルギー消費機器を、エネルギー効率の高いヒートポンプ、 燃料電池、コージェネレーション やインバーターモーター等の省エネ設備・機器に更新することや、電力排出係数の改善の推進、再生可能エネルギーの導入などが有効と考えられます。

※表現や誤字脱字等の軽微な修正については省略しています。